

1989 (毎月1回) 発行

4月号

(村の面積)
332.60km²

発行 福井県大野郡和泉村

広報 いずみ

(平成元年4月1日現在)

村の人口	
総人口	894人
男	441人
女	453人
出生	0人
死亡	0人
転入	8人
転出	15人
世帯数	292世帯



平成元年度スタート

行事お知らせ

◆ 第二回奥越溪流釣り大会

◆ 四月十六日 日曜日

◆ 午前五時から午前十一時まで

◆ 九頭竜川・大納川

◆ 対象魚：岩魚・あまご・ニジマス

◆ 会費：一、五〇〇円(女性、中学生以下一、〇〇〇円)

◆ 受付：前日の正午から当日午前六時まで

◆ 新朝日橋・谷戸口の二カ所

◆ 第三回九頭竜パラグライダーフェステバル

◆ 四月二十九日と四月三十日

◆ 要二日間

◆ 九頭竜スキー場

◆ 第二回中部パラグライダー選手権大会

◆ 第三回九頭竜新緑まつり

◆ 五月二十日から六月四日まで

◆ の十六日間にわたる新緑市場で販売される野菜を広く

◆ 村民よりご協力いただきました

◆ お願いいたします。

◆ なお、詳しいことについては

◆ 五月号にてお知らせいたします。

みんなで越美北線を利用しよう

平成元年度予算 総額十八億六千四百七万八千円 一般会計 十五億五百万円

三月十四日から十七日まで開かれた村議会三月定例会で平成元年度の各会計予算が決まりました。一般会計十五億五百万円、簡易水道事業などを含めた六特別会計三億五千九百七万一千円で、予算総額は十八億六千四百七万八千円となり、前年度予算に比べて五千九百二十八万一千円、三一パーセントの減になっています。

- ◎消費税導入に伴い、野外総合レクリエーション施設の設置及び管理に関する条例、使用料及び手数料条例、青少年グリーンセンター設置及び管理に関する条例、テニスコートの設置及び管理に関する条例をそれぞれ一部改正しました。
- ◎和泉村過疎対策のための固定資産税の課税免除に関する条例の制定

◎和泉村ふるさと基金設置条例の制定

◎和泉村印鑑登録及び証明に関する条例の制定

◎和泉村定住促進対策条例の制定

◎固定資産評価審査委員会委員に番屋喜代志氏

◎教育委員会委員に
土谷 利美氏
中内 智利氏
三嶋健太郎氏

主な事業

農林水産業関係

新林業構造改善事業は、前年に引き続き林道春木谷線開設を七百メートル計画いたしました。その他林道改良、維持関係事業に一千四百二十五万円を計上するとともに広域基幹林道奥越線の調査費に四百二十万円を

計上し、早期採択に努力いたしますのであります。

また、森林組合が事業主体となり実施します。森林地域活性化事業、集団化施設促進事業、良質材生産推進事業に補助金として八百四十九万四千円を計上しました。

農林業の振興を中心とした過疎地域村おこし事業は前年度をもって三ヶ年の事業が完了をいたしました。引き続き本年度より三ヶ年計画で再スタートいたしましたので、駅前並木整備等に六千二百万円を計上いたしました。環境の整備をはかることといたしました。

農業関係では、農村基盤総合整備事業で下山農村公園整備等で六千万円を計上、その他各地区から強く要望されており、農林水産部施設改良整備につきましても六百万円を計上し要請に応えることといたしました。

また、特定産業振興対策パイロット事業に三百万円を計上し、特産物の生産奨励を強化に推進することといたしました。

生活環境関係

仮称和泉スキー場に至る村道蛇鏡線の改良整備に二億六千七百万円を計上し、平成二年度完成を期することといたしました。

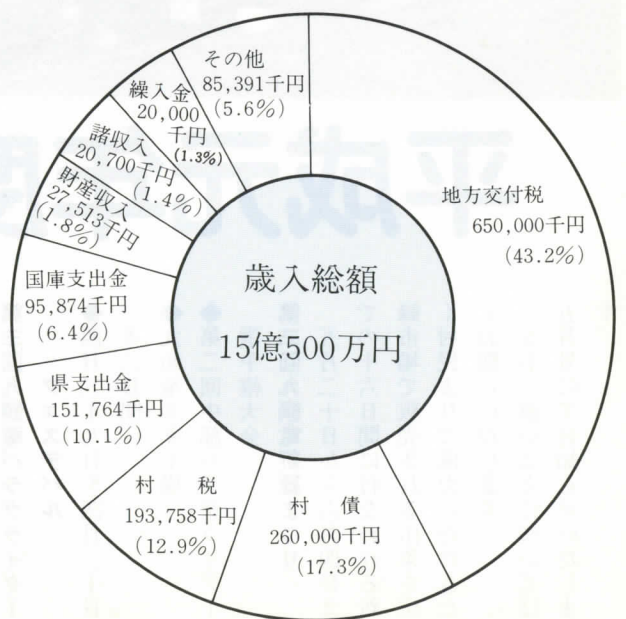
村道の改良と維持工事を進めるため三千九百二十九万二千円、集落周辺の河川整備に一千七百五十万円を計上し地区要望の道路維持と災害の防止に資することといたしました。

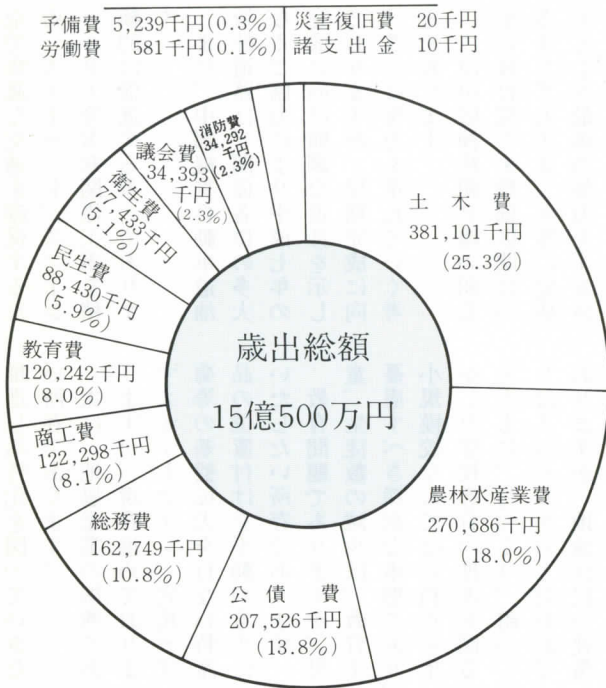
更に冬期除雪体制の強化を

図るべく除雪機械購入費二千五百万円を計上整備することといたしました。

また、合併処理浄化槽事業に九百六十万円を計上、本年を初年度とした五ヶ年計画で生活雑排水による生活環境の悪化及び公共用水域の汚濁を防止する手段として、その普及を図ることといたしました。

次に立木の伐採、作業路の開設等により水源の枯渇、濁水等で不自由を忍んでいた箱ヶ瀬地区飲料水供給施設を廃止し、地下水で対応するべく水源確保のため改良事業補助





商工業者及び住民に 対する融資制度

金として一千二百四万二千円を計上、円滑なる飲料水の供給に留意いたしました。

商工業者及び住民に、商工業振興資金に二千円、本年度より新たに、商工観光施設・設備整備資金に二千円を計上、また、生活安定資金に一千円、住宅資金に四百万円計上し、商工業振興資金、商工観光施設・設備整備資金については金融機関を経てそれぞれ六千万円、生活安定資金についても同じく二千二百

教育関係

現在の学校教育に、社会情勢に即応するべく一千万円を計上、その結果に期待するものであります。国民休養地におきましては、第三リフトのケーブル老化による取替工事に六百五十万円、オートキャンプ場整備工事に五百万円、公衆便所の一部水洗化に六百八十万円、大型遊具整備工事に引き続き一千万円を計上いたしました。施設

観光関係

九頭竜紅葉まつりが記念すべき十回目の開催となりますので補助金三百五十万円を計上、更に飛躍の第一歩とすることとしました。

温泉ボーリングについては、状況に即応するべく一千万円を計上、その結果に期待するものであります。国民休養地におきましては、第三リフトのケーブル老化による取替工事に六百五十万円、オートキャンプ場整備工事に五百万円、公衆便所の一部水洗化に六百八十万円、大型遊具整備工事に引き続き一千万円を計上いたしました。施設

当面する問題と村づくり

地方の時代と言われて久しい今日であります。地域の特性を活かした、個性的な村づくりへの責任を痛感しているところであり二十一世紀を目指し、的確な将来展望にたつて行政の推進が最も大切であると常に自戒しているところとあります。

和泉村新総合計画では、和泉村の自然条件と特性をいかした観光産業の推進を重要施策として掲げております。既にご承知のとおり仮称和泉スキー場開発は、近江鉄道の進出が決定し、昭和六十三年度からアクセス道路に着手いたしております。

その二十一世紀まで残すところわずか十二年、まさに二十一世紀へのラストスパートにさしかかりました。今一度現実をしっかりと見直して、今やらなければならぬことを確実に実行し、解決していくことこそが肝要でなからうかと思えます。ラストスパートを全うし、二十一世紀に引き継いでゆくのが私の責務でございます。

この開発は電源開発事業以来の大事業であると認識するとともに、その必要重大性を痛感いたしております。今後とも地元住民はもとより、全村民のご理解とご協力をいただきスキー場の一部を平成二年十二月の供用開始に向けて渾身の努力を傾注する決意であります。

さらに、家族旅行村におきましては、野外ステージを二千万円で構築し、各種イベントの開催を容易にし誘客の促進を図るとともに利用率の高いログケビン五棟を増築し施設の拡大を図るものであります。

国も過疎と高齢化が同居しながら進行し、ふるさとが衰退していく姿を憂慮、その活性化を図るため、ふるさと創生論を提唱させて、財源につきましても配慮がなされておりますので、村の独創的な地域づくりに懸命に努力を重ねているところでございます。

そのためにも、生活環境の整備が急務であり特に交通網の整備を最優先し、国県道におきましてはフルシーズン安

全で快適な交通を確保するため、スノーセット、スノーシエーター等雪寒関係工事を積極的に促進する考えであります。

また、中部縦貫自動車道油坂峠道路は、関係各位の多大なるご協力により平成七年の完成に向け順調な進捗を示しておりますが、早期完成に向けさらに努力を重ねていく考えであります。

白山中居神社朝日線の朝日から後野間の未整備区間につきましては平成二年度に完成するよう最善の努力をする所存であります。

次に、越美北線であります。南線との全通は諸般の事情により断念せざるをえなくなり、痛恨の窮みでございませうが、北線の存続には今後とも乗る運動等を展開し努力を重ねてまいります。

大規模スキー場のオープンを間近にひかえ、また、四月二十一日オープンが決定をいたしております中竜鉱山のアドベンチャーランド中竜、加えて温泉開発等、長期滞在型周年型観光に向けて着実な歩みを見せておりますので、既存の商工観光業者に対し、融資制度、利子補給等積極的に

推進し活性化を図っていきたい所存であります。

次に、地場産業の振興であります。現在進めておりますスイートコーン、穴馬カブ、菊等の基盤拡大を行ない特産品の位置付けを不動のものにいたしたい所存であります。

教育問題であります。児童、生徒数の減少は、教育上憂慮すべき深刻な事態であり、小規模校ならではの利点を生かした学校教育の推進を図るとともに、村づくり、町づくりは人づくりからと言われておりますが、地域住民の連帯感や共同体意識などを抜きにしては村づくりは考えられないわけであり、社会教育の充実、強化を図ってまいります。

最後に、ふるさと創生の一億円でございませうが、趣旨に基づき、広く住民参加のもとに地域の知恵と情報を結集すべく、プロジェクトチームを編成し、村づくりの起爆剤となる事業を期待するものであります。

以上、新年度予算の概要と今後の村づくりについて述べました。

■消費税導入に伴う使用料及び手数料(変更のみ抜粋)

名 称	施設整備	区 分	単 位	金 額(新)	金 額(旧)
九頭竜国民休養地	テニスコート	一 時 間	1 面	600円	500円
	キャンプ用テント	一 日	1 面	4,500円	4,000円
	テント持込料	五 人 用	1 張	2,100円	1,000円
天狗岩ファミリーパーク	オートキャンプ場	一 泊	1 面	2,000円	1,000円
		休憩(二時間)	1 棟	11,000円	10,000円
和泉前坂家族旅行村	ファミリーケビン	一 泊	1 棟	3,100円	3,000円
		テント	1 棟	5,150円	5,000円
		テント持込料	1 張	2,100円	2,000円
		毛 布	1 組(2枚)	310円	300円
		ラン プ	1 個	510円	500円
		調理用具	1 式	1,030円	1,000円
		テーブル	1 卓	510円	500円
老人福祉センター	フライシート	一 枚	1 枚	210円	200円
		会 議 室	1 回	1,030円	1,000円
		和 室	1 回	1,540円	1,500円
		調 理 室	1 回	1,030円	1,000円
中央公民館	講 堂	講 議	1 回	3,090円	3,000円
		会 議 室	1 回	1,030円	1,000円
		視 聴 覚 室	1 回	1,030円	1,000円
		結 婚 式 場	1 回	10,300円	10,000円
村民グラウンド	グ ラ ン ド	小 中 高 生	1 面	720円	700円
		大 学 ・ 一 般	1 面	1,030円	1,000円
		村 内 住 民	1 時 間	1,030円	1,000円
村民体育館農林業者トレーニングセンター	夜 間 照 明 施 設	そ の 他	1 時 間	2,060円	2,000円
		小 中 高 生	1 面(半日)	1,030円	1,000円
		大 学 ・ 一 般	1 面(半日)	1,540円	1,500円
青少年グリーンセンター	和 室	1 室(半日)	1 室(半日)	510円	500円
		1 室(1日)	1 室(1日)	1,030円	1,000円
		研 修 室	1 室(1日)	610円	600円
和泉村立テニスコート	テニスコート	宿 泊 料	1 人	610円	600円
		一 時 間	1 面	600円	500円
		一 終 日	1 面	4,500円	4,000円
		夜 間 照 明 施 設	1 時 間	500円	500円
衛生事務	し尿汲取手数料	村 内 住 民	1 時 間	1,100円	1,000円
		そ の 他	1 時 間	1,100円	1,000円
		し尿の汲取	10リットル	50円	45円

平成元年度における主な事業

(単位:千円)

款	事業所	事業費	財 源 内 容				備 考
			国県支出金	起 債	そ の 他	一般財源	
総 務 費	村営バス運行事業	9,349	2,800		2,500	4,049	2路線
	広域行政推進事業	5,207				5,207	大野、勝山地区広域行政事務組合
	車輛整備事業	8,150				8,150	マイクロバス(29人乗り) 1台
	コミュニティー事業	2,000			1,900	100	イベント用織(宝くじ助成金)
	村有林保育事業	3,491	1,026			2,465	下刈、倒木起し、除伐、枝打
民 生 費	生活安定対策事業	10,000			10,000		
	住宅資金貸付事業	4,000				4,000	2戸分
衛 生 費	合併処理浄化槽事業	9,600	6,400			3,200	20基
	ゴミ収集車購入事業	5,800	5,153			647	4t車
農林水産業費	農村基盤総合整備事業	60,000	39,000	18,000		3,000	農村公園、農導整備
	県単土地改良事業	3,000	900			2,100	2箇所
	県単林道改良事業	11,000	4,400			6,600	3路線
	県単小規模治山事業	1,000	400			600	1箇所
	広域基幹林道整備事業	4,200				4,200	奥越線調査 7K
	森林地域活性化事業	1,578	1,360			218	間 伐 25ha
	集団化施業促進事業	5,250	2,250			3,000	作業路開設 1.5K
	良質材生産推進事業	1,666	1,060		606		枝 打 13ha
	林業構造改善事業	50,000	35,000	15,000			春木谷線 L=700m
	淡水魚放流事業	2,030				2,030	アユ、アマゴ外
	特定産業振興対策パイロット事業	3,000				3,000	特産物の生産奨励
過疎地域村おこし事業	62,000	28,000	11,200		22,800	駅前並木整備外	
商 工 費	商工振興資金貸付事業	40,000			40,000		限度額 20,000千円
	九頭竜万本桜推進事業	1,000				1,000	
	九頭竜紅葉まつり実施事業	3,500				3,500	10周年記念
	天狗岩ファミリーパーク管理事業	5,000				5,000	管理組合委託
	温泉開発調査事業	12,000				12,000	ボーリング L=100m等
土 木 費	国県道等改良事業負担金	2,000				2,000	
	除雪機械整備事業	25,000		23,700		1,300	ロータリー除雪車
	蛇鏡線改良事業	267,000	75,350	185,100		6,550	補助分 L=300m 137,000 単独分 L=300m 130,000
	道路改良整備事業	34,292	19,615	7,000		7,677	3路線(池ヶ島、有蓉、朝日)
河川整備事業	17,500				17,500	寺谷川、洞ヶ谷川	
教 育 費	C・A・I(パソコン)導入事業	14,000	6,200			7,800	15台(和泉中)
計		683,613	228,914	260,000	55,006	139,693	
特 別 会 計	簡易水道整備事業	12,046				12,046	箱ヶ瀬地区井戸堀補助
	国民休養地整備事業	28,300		14,200		14,100	大型遊具、オートキャンプ場等
	観 光 事 業	29,000		28,000		1,000	野外ステージ、ログケビン
計		69,346		42,200		27,146	
そ の 他	不動産売却事業(宅地分譲)	7,470					5区画
	(森林分譲)	1,000					
	(墓地分譲)	1,750					25区画
	(立木売却)	8,000					越 戸
計		18,220					

村にひびきわたった 平安時代の笛の音



三月十日、横笛研究家の美濃晋平氏と笛師の田中敏長氏が、再び来村され、横笛作り講習会を両先生の指導により行ないました。

難かしいと思われた笛作りも基本通りに作れば二時間ほどででき、でき上がった笛をすぐ音を出す子供まで現われ大喜びでした。

また、両先生は朝日家に伝わる青葉の笛を再度鑑定調査した結果、あらたに分った事は、今まで笛の外部が山まゆで巻かれていると思われていたが、極細く切った桜皮ではないかという点と、田中先生が、持参された三百年來「上家」に伝わる竜笛と比較して全体の凹凸が非常に少ないという点で、現在残されている青葉の笛の中では最古の笛に間違いのないであろうといわれ復元するには難かしい部分はあるが、一年位かけてじっくり製作したいと話しておりました。

調査の後、朝日家の庭先で当時を偲びながら笛を奏でられました。演奏中小鳥が数羽飛んで来て演奏に加わるなど自然の中で美しい笛の音は

義平公当時の平安のロマンがよみ帰ったようでした。

当地に義平公伝承と青葉の笛が今も残されているのは、「その昔この地が、山の民（木地師、山窩、轆轤師）の大勢力地であり義平公隠との地庄ヶ原が聖地というべき拠点であったのだろう。当時の彼等はたとえ敗残の將であっても、権力に反逆した者でも、来たる人々には温かくその手を差し伸べた心温かい人達であり、その始祖は惟高親王にまでさかのぼる。そして彼等は常に音楽を愛し、木地笛、木こり唄等独特の民族音楽文化を持っていた。」と話しておりました。

当村には、平家落人伝説も多く残されていますが、私達の先祖は、音楽好きの心優しい人々であったのではないかと、そしてその歴史的土壌が今の若い人達にも受け継がれ、ジャンソンという音楽を通して「笛の里」づくりなどを取り入れ文化村をという活動に現われているのかも知れません。

教育研究顕賞に西瑠梨子さんが決まる

六十三年度村教育研究顕賞の受賞式が二日、村教育委員会で行われました。

この賞は、創意と工夫に満ちた教育活動推進に顕著な業績があった児童生徒や教職員に贈られるもので、今回、賞を受けた方々は次のとおりです。

☆優秀選手賞

○吉岡千賀子（和泉中三年）

（三年間、剣道競技に優秀な成績）

☆奨励賞

○三橋 里子（朝日小教諭）

「子ども一人ひとりが楽しむ表現運動の指導」

○古川 純也（朝日小六年）

「歴史新聞づくり」

○山出しぐれ（大納小二年）

「ナタマメの研究」

☆表彰状

朝日小学校

○大納小学校児童会
○自分たちの手で進める児童会活動

「自ら学ぶ意欲をもって、たくましく生きる児童の育成」勤労生産学習を通して」（昭和61・62年度文部省研究指定校）



松村秀彦先生 三橋里子先生 吉岡千賀子さん
古川純也くん 尾崎百恵さん 西瑠梨子さん 山出しぐれさん

大納小学校長に山田浩一さん

四月一日付教職員異動

四月一日付小学校・中学校教職員の異動があり、次のとおり着任されました。

転入

校長 泉 都敏(開成中)

教諭 角南 達三(新採用)
教諭 石塚 和代(新採用)
非常勤 千葉 明美(新採用)

大納小学校

校長 山田 浩一(下庄小)
教諭 前川 清和(新採用)
非常勤 山田 直美(新採用)

和泉中学校

教頭 笠松 澄(有終西)
教諭 松間 文孝(開成中)
教諭 末永 巖(勝山中)
教諭 石崎 隆幸(新採用)

転出

武田 知道(大小) 上庄中へ
山田 敬(和中) 乾側小へ
筒井由紀夫(和中) 大野高へ
千田 佐(朝小) 奥越青少へ
松井 英隆(和中) 高須城小へ
大谷誠史郎(大小) 陽明中へ

退職

新屋喜久男(朝日小学校長)

平成元年度の

小学二年生十三人が入学

今年めでたく小学校に入学した児童は、次のとおりです。

朝日小学校

名前	性別	保護者	住所
山崎 綾子	女	雄三	下山
東 拓也	男	三千雄	下山
高見美由紀	女	英三	朝日
宮原 英子	女	日出喜	朝日
新井絵理子	女	一藤	川合
谷 英俊	男	秀明	下山
嶋田 雄一	男	博	貝皿
清藤 幸代	女	昇	朝日

大納小学校

辻 香緒里 女 善範 上大納

役場職員の異動と一部機構改革

四月一日付

四月一日付で一部機構改革と役場職員の一部に次のとおり異動がありました。

観光課管理係を廃止し、新しく観光課リゾート開発係を

設けました。

※観光課

観光係長 古川 渉(管理係長)

開発係長 宮下 隆(観光係長)

※産業課

主 事 三嶋 政昭(総務課)

※総務課

主 事 補 稲郷 一朗(住民課)

※住民課

主 事 補 中屋 克己(総務課)

※朝日保育所

主 任 保 母 小嶋百合子(中竜保育所)

※朝日保育所

保 母 吉村 春代(朝日保育所)

※和泉中学校

用 務 員 長岡とし子(大納小学校)

※大納小学校

用 務 員 林 幸子(朝日小学校)

※朝日小学校

用 務 員 原田ミヨ子(和泉中学校)

※四月一日付新採用

※観光課

谷 信弘

安田 充

※総務課

松村久美子

※産業課

荒木由香里

※診療所

東 まゆみ

国民年金の窓

この春、年金総点検

国民年金は、二十歳以上のすべての国民で支え合う公的年金です。加入者は、職業などにより三つの種類に分かれます。

第一号被保険者

自営業、農業、家事手伝いなどの人
○加入の手続きは、自分で直接役場で行います。

○保険料は、一ヶ月八千円で

す。

第二号被保険者

会社員や公務員など厚生年金や共済年金に加入しているサラリーマン
○加入の手続きは必要ありません。

○保険料は加入している厚生

年金に加入している人

○加入の手続きは、自分で直接役場で行います。

○保険料は、一ヶ月八千円で

す。

自分の年金は自分で守りましょう

年金や共済年金の各制度が負担しますから、自分で直接納める必要はありません。

第三号被保険者

厚生年金や共済年金に加入しているサラリーマンの被扶養配偶者
○加入の手続きは、自分で直接役場で行います。

○保険料は自分で直接納める必要はありません。

〔希望で加入〕

任意加入被保険者

大学や専修学校・専門学校(いずれも昼間部)の学生、生徒などで希望する人
○加入の手続きは、自分で直接役場で行います。

○保険料は、一ヶ月八千円で

す。

税金は納期限までに

みなさん、税金の未納付分がありませんか。
昭和六十三年度も終わり、平成元年度が始まりましたが税金をまだ納めてない人は至急納めるようお願いいたします。

大野税務署庁舎

移転のお知らせ

三月二十九日(水)より新庁舎が完成し、執務を開始しました。

新庁舎の所在地は、大野市城町七番二八号、電話番号は六六一二一八〇番です。

四月より印鑑事務が変わります

平成元年度福井県国際交流事業

	①近畿青年洋上大学	②国際青年の船	③国際婦人の船
訪問国	●中華人民共和国 ●大韓民国	●ソビエト社会主義共和国連邦 ●ドイツ連邦共和国 ●フィンランド共和国 ●デンマーク王国	●ソビエト社会主義共和国連邦 ●ドイツ連邦共和国
実施時期	8月16日(休)~ 8月28日(月) 13日間	7月27日(休)~8月9日(休) 14日間	14日間
募集人員	30名	100名	30名
応募資格	20歳~30歳 (昭和33年4月2日~ 昭和44年4月1日出生)	18歳~30歳 (昭和33年4月2日~ 昭和46年4月1日出生) ただし、高校生は除く	30歳~60歳 (昭和33年4月2日~ 昭和34年4月1日出生)
派遣コースと参加負担金	170千円	モスクラ・バルド 183千円 モスクワ・シルクロード 197千円 モスクワ・フィンランド 252千円 モスクワ・西ドイツ 289千円 モスクワ・デンマーク 305千円	モスクワ・レーニンград 194千円 モスクワ・西ドイツ 289千円
募集期間	4月1日(出)~4月28日(金)		
その他	青年リーダー(2名)も募集しています。	指導者(5名)も募集しています。	

詳しいことについては、教育委員会へ

労働保険年度更新について

◎労働保険料の申告・納付は五月十五日までに

●労働保険(雇用保険・労災保険)の保険料の申告・納付は四月一日から五月十五日までです。

●事業主の皆さんは、この期間中に昭和六十三年年度の確定保険料と平成元年度の概算保険料を自主申告・自主納付してください。

◎申告・納付の手続について
●福井県雇用保険課と福井

労働基準局では県内各地に受付会場を設けますので、最寄りの会場を御利用ください。

●申告・納付が遅れますと延滞金等が課されますので、必ず法定納期(五月十五日)までに申告・納付してください。

受付月日 時 間

四月十七日(月) 10時~16時
四月二十一日(金) 10時~16時

場所 大野建設業会館
場所 大野市民会館

敬老数多唄

一つとせ 人は誰でも年をとる
二つとせ 豊かな老後を考へよ
三つとせ 不老長寿の妙薬は
くよくよしないで暮すこと
身なり肌着はこざいらいに

工事は安全に

三月六日、社会教育福祉センターにおいて、工事現場の安全対策についての研修会が村内建設業者及び従業員を対象に行なわれました。

全産業のうち、死亡災害の四割を発生させている建設業なかでも小規模工事現場は、災害多発の「温床」とさえいわれているため、大野労働基準監督署長を迎へ、労働災害の現状や安全管理上の問題点と工事現場の安全管理体制などについて研修があり、平成元年度より無事故を祈りつ

村内建設業者及び従業員研修会

つ盛況のうちに終了いたしました。



狂犬病予防注射の日程

平成元年度狂犬病予防注射の日程は次のとおりです。
なお、手数料は一頭につき、四千五百七十七円です。
四月十三日(木)
十時から十時十分まで
下山多目的集会施設
十時二十分から十時五十分まで
役場中電支所

役場前
十一時二十分から十一時五十分まで

